

# 2020 TOKYO パラリンピックへの道



大川順一郎  
TOKYO パラ  
サポートチーム  
2019年(令和元年)8月10日  
NO. 5



青いバラ オンディー

## チャレンジを続ける中で

### 第5回人権と福祉のまちづくり講座

7月28日(日)

鳥取市国府人権福祉センター

#### 演題

『ピンチを乗り越え夢をもち続けて生きる』 **—わずかでも可能性にかけるパラリンピックへの挑戦—**

なかなか結果の出ないチャレンジが続いて応援してくださっているみなさまには申し訳ないですが、その取り組みを応援してくださっている方々からこれまでに何度か講演のご依頼があり、今回鳥取市内で4度目の講演をさせていただきました。

(講演会参加者のご意見や感想)



- ★自分が同じ境遇になった場合はなんとか日々を過ごすことできゆうきゆうとなると思いますが、それだけにとどまらず夢に向かって活動されるところはなかなかまねできないと思いました。
- ★大川さんのチャレンジ精神本当に心うたれました。御家族との関係もすばらしく思います。
- ★夢に向かって挑戦しつづける講師の方の姿、志の高さに心打たれました。
- ★身体のハンデに負けず、夢をもち続け、前向きに生きる大切さを学びました。健常者でもできない(できていない)パラ馬術に興味がわきました。ぜひ頑張ってください。
- ★夢をあきらめないで、挑戦することの大切さ、すばらしさを教えてもらいました。ポニー先生には、病気に負けないでこれからもがんばってほしいと思います。ありがとうございました。
- ★生きる姿勢について考えさせられ、とても勉強になりました。小学校に出向かれ、地道な啓発をなさっていることもうかがっています。ご家族のご協力もすばらしいですね。先生の後姿がたくさんの方の心を育てているのですね。お元気で活躍下さい。
- ★健常者でも恐怖感がある馬術競技だと思いましたが10月の大会、そして東京パラに向けての挑戦を心からお祈りしています。

※これまでは、講演をさせていただいても一方通行が多くて講演を聞かれた方のお声をお聞きする機会はありませんでしたが、このたびは、会場となった国府人権福祉センターの方がアンケートを集計され、その結果を送っていただきました。少しでも多くの方にパラの競技について知っていただくことができましたし、参加者お一人お一人がご自身の人生と重ね合わせながら聞いてくださって、ご自身の未来を考えるきっかけにしてくださりとてもうれしく思っています。

#### 今後の取材・講演の依頼予定

8月 8日(木) 朝日新聞社さん今後の取材についての打ち合わせ

24日(土) 季刊誌「とっとりNOW」の取材 ポニースマイル

.....パラリンピックに向けてチャレンジする他競技の選手2名とともに

10月 日程は未定 浦安小学校5年生児童への講演予定

【今年のパラの競技会結果より】

- ☆JRAD 国内競技パートI 宣夢
  - 3月16日(土)
  - G5 チームテスト 52.725%
  - 17日(日)
  - G5 インディビジュアルテスト 51.349%
- ☆JRAD 国内競技パートII オンディーナ
  - 6月8日(土) G5 チームテスト
  - オンディーナとのコンビネーション
  - がうまくいかず無念の途中失権
  - 9日(日)
  - G5 インディビジュアルテスト 47.817%

※3月からすでに、パラリンピックの選手選考対象のCPEDI(国際競技会)は始まっています。毎回、国内競技会で55%をクリアしてCPEDIに出場できる資格を取得するよう取り組んできましたが、非常に苦戦しています。ステップアップするために4月からコンビを組んでいるオンディーナのよさを出し切れない現実に焦りを感じています。

【今後のチャレンジ】

- ☆ 8月31日(土)、9月1日(日) 岡山国体記念大会 蒜山ホースパーク 一般競技 L1 課目
- ☆ 9月21日(土)、22日(日) 蒜山ドレッサージュ 蒜山ホースパーク 一般競技 L1 課目
- ☆ 10月19日(土)、20日(日) JRAD 国内競技会パートIII 御殿場市馬術・スポーツセンター  
 パラ馬術グレードV ※55%以上のポイントをめざします
- ☆ 11月 第3回全日本パラ馬術大会 三木ホースランドパーク  
 パラ馬術グレードV



大川選手は、これまでのJRAD主催の公式競技会で55%をクリアした経験がないために、パラリンピック出場選手選考対象となっているCPEDI(国際競技会)に出場することができない状況にあります。残念ながら今年最後となる10月のJRAD(御殿場市)の競技会も、国内競技会への参加となります。今後の展望に向けての現状は厳しいところですが、少しずつ進んでいると思われる筋力の低下の不安と闘いながら、クオリティの向上をめざして練習に取り組んでいるところです。来年2020年になってからCPEDIの競技会が開催されるかどうかはまだ発表されていませんが、どこまで自身のポイントを伸ばすことができるか最後まであきらめない心で挑戦を続けます。

サポートチームのホームページアップ

ホームページがアップされました。しばらくは、こちらのURLからアクセスをお願いします。こちらから寄付のお願いもしていただいています。 → <http://ponysmile.oops.jp/teamokawa/index.html>

このレターは、2020年東京パラリンピックの出場をめざす大川順一郎選手をサポートするチームが、ご支援して下さる方々に大川選手のチャレンジの様子をお知らせするレターです。今後ともよろしくお願いたします。

東京パラ・馬術出場目指す

元小学校教諭 難病の大川さん講演



東京パラリンピックに出場する夢を語る大川さん(馬取市国府町で)

講演会には、市民ら約30人が参加。大川さんは、妻から生体肝移植を受けて肝臓がんを克服した経験や、難病でベストホールのふたを開けることも難しくなってきたことを明かし、知人から勧められたパラ乗馬に

難病と闘いながら、馬術・同市国府町の市国府人権福祉センターで講演会を行った。2013年に肝臓がんを診断され、17年には手足の筋力が衰える難病「封入体筋炎」にかかっていることが分かった。現在は退職し、障害者スポーツ「パラ馬術」で東京パラを目指している。

読売新聞社さんが取材に来てくださっていました。

ついでには、できるかどうか不安だったが、「好きな馬と気持ちよく走る」という夢と、支えてくれた家族への感謝の気持ちから、挑戦を決めた」と話した。現在は、日本代表入りを目標に各地の競技会に出場している。大川さんは「どうみ出さないと始まらない」と締めくくった。